

500

34



始





5T-27

500  
34

大正十年五月

民力涵養實行資料 (其四)

事項 講演會の開催に付改善を要すべき

内務省社會局



500-34

1. 075

東 神 兵 長 新 崎 群 千 茨 浜

奈

目次

東 川 庫 崎 瀨 玉 馬 葉 城 木

.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
三	三	〇	九	七	五	二	三	二	一

大正  
10.7.11  
肉交







香	川	六
愛	媛	六
高	知	九
福	岡	〇
佐	賀	二
熊	本	三
宮	崎	四
鹿	兒島	五
沖	繩	六

東京府

イ、多數聴衆を集むる爲並直觀的に趣旨を理解せしむるが爲普通の講演の外活動寫眞を利用するを最も良好と認む

ロ、然るに優良なるフィルム之作製には多額の費用を要し各府縣に於て之を作製するは容易に非ざるを以て内務省に於て創作し之を複製して各府縣に實費若は無料にて配付すること

ハ、講演の中には特に地方特種の事情を斟酌し之に適合するの演述を爲すことは單なる抽象的理論の演述よりも一層聴者の判断を適確にし並に聴衆の興味を唆るの利あり

ニ、講演終了後直に散會することなく引續き協議會又は談話會等を閉き其の趣旨の徹底を期すること



ホ、時間の勵行を期すること  
へ、多數を集合せしむるには夜間を撰ぶこと

## 神奈川縣

講演會開催の方法に付ては縣郡市等の主催によりて多人數を集め  
一般的趣旨の普及を圖ること素より必要なれども一町村或は一部落  
を單位とし即ち主婦、戸主、青年、處女等其會員の性質に依り各別に之を  
集め懇談的に講演をなすを可とす、又多數一般人の集合に當つては活  
動寫眞を利用すること亦必要なり、郡市等廣き範圍に亘りては町村役  
場吏員、小學校教員等に對しては講演會、講習會等を開催し或は特に趣  
旨徹底方法の實行的訓練をなし之等をして各町村指導の衝に當らし  
むべし

從來の講演會に於ける弊と認む可きは會衆の多きを以て成績良好  
なりと認め雜然として講話の標的を得難き弊あり又講話者に於ては  
徒らに難解の語句を以て講演をなすの傾あり宜しく會衆の程度に應  
じ平易通俗を旨とし趣旨の徹底を圖るべきなり

## 兵庫縣

第一講師の選擇は最も肝要の事たり如何に講師を選擇すべきか

- 一、實行の人たるべきこと
- 二、感激性に富たる人たるべきこと
- 三、謙讓の徳に富たる人たるべきこと
- 四、地位若くは生活の安定を得たる人たるべきこと
- 五、時勢の進歩に通曉せる人たるべきこと



六、地方の生態人情を知悉せる人たるべきこと  
七、常識に富たる人たるべきこと

第二會場の設備に徹底せしむる上に大なる關係あり如何に設備すべきか

- 一、公會堂の特設を獎勵すること
- 二、學校の講堂を利用すること
- 三、寺院を開放すること
- 四、小學校の教室を利用するも可なれども彼の間口四間奥行十五間而かも其の中間に吊り壁ある會場は最も不可なり
- 五、聽衆の多少によりて演壇の高さを斟酌すること要は講演者の聲が會場の中央に落つるを適度とす
- 六、會場の中央に通路を設けざること

七、會場の裝飾は簡素を旨とすること小旗を天井に吊すが如きは最も不可なり

八、插花の大きさ及置場所に注意すること

九、聽衆を演壇の根元までつめしむること演壇と聽衆の間に數間の間隔あるは最も不可なり

十、來賓及參列者は演壇の後側方に設け聽衆を本體とすること殊に婦人會の時などは決して正面に近く之等の席を設けざること

十一、會場は成べく閑靜なる境地を選ぶこと

第三講演の仕方は徹底の上に直接なる關係を有するを以て講師は左記諸項に注意すること

- 一、言語は俗耳に入り易くして而かも下卑に陥らざること
- 二、上壓的命令的なるべからずどこ迄も勸誘的獎勵的なるをよしとす



「お前等は」といふよりも「お互に」といふ方をよしとす

三、巧みに譬喩引例を應用すべし通俗講演は之が生命なり如何に論旨整然たるも之なくば無味乾燥となりて倦怠厭忌の念を生ずるものなり

四、講師の態度の輕々しき音聲のかん高きは上りして徹底不十分なりどこ迄も溫容にして而かも莊重なるべし音聲は各自の天性なるも滋味ある而かも丹田より發する聲ならでは徹底不十分なり

五、講師は名利を超越し一世を指導するの概あるを要す苟しくも時流に迎合するが如きは最も忌むべし

六、講演は地方の狀況に適合すべきこと否らざれば如何なる嘉言も明説も共鳴少し

七、講演の腹案は聴衆をして「其の次は」「其の次は」と期待心と興味を以て

乗り氣に成り來る様に構成すること

八、講師と聴衆との氣合一致し相互一體三昧の境に入るにあらざれば徹底不十分なり

第四、聴衆の出席勧誘は講演會開催上第一義として努力を傾注すべき肝要事たり之が方法としては

一、聴衆の多少は一に司會者の努力如何により誠意なきふれ方は常に失敗せり「縁なき衆生は度し難し」此の一事先づ以て最善の努力を傾注すべきこと

二、方法としては參聽せしむべき地域内各戸に宛名を記したる案内狀を配布すること案内狀の内容は必ず左記事項を具備すること

何月何日何時何處に於て何人を講師として何事に關する講演會を開くそれは何の爲に是非出席を要する理由



三、一面小學校兒童をして是非父兄又は母姉の出席を懇請せしむること

四、現今一般民衆は未だ講演に趣味を有せず之れ寧ろ從來の施設不徹底なりしと講師其の人を得ざりし罪故を以て一層誠意を以て徹底的方法を講ずるの必要あり

五、尙一層徹底的の方法としては出缺を問ひ缺席者に對しては各戸を訪問して勧誘する方法をとれば必ず成功するは事實の證明する所なり

六、從來行はれたる餘興若くは福引政策にある勧誘は最早舊時代に屬す此の際斷然改むべきなり

#### 第五、主催者の心得べき事項

一、講演の目的を確立し適當なる講師を選ぶこと

二、開會前に講演時間並講演要旨につき講師と打合すこと

三、司會者及會場取締を設くること

四、開會閉會の辭は簡潔を旨とし講演の趣旨の印象を強からしむること

五、來賓又は講師の遅刻のため一般聽衆をして時間を空費せしめざること

六、聽衆の少なき時兒童等を入れて場合を繕ふが如きことを避くること

#### 第六其他注意すべき事項

一、講演要旨を記したる印刷物を配付すること

二、時間履行が開會時間のみに限られ閉會時間の無頓着なるは不可なり凡てに於て時間の履行を要す



三、講師としても司會者と豫め打合せ時間を確守する一種の徳義と心得べきこと

四、婦人の會合に於ては食事の準備後始末の時間を考へて時間を定むべきこと

五、會合の時間は理想的にいへば午前中殊に早朝を最も可とするも農村に於ては公休日はともかく普通は夜間を最も適當なりとす

六、聽衆の多數は全體の意氣を盛らなしむる上に効果あるも徹底の點よりいへば少人數を可なりとす聽衆無慮何千といふ事は如何にも盛會に感ぜられ講師の意氣亦大に昂り緊張の氣分従つて見るべきものもあるも大抵お祭り騒ぎに終るものなり由來聽衆の責任感は聽衆の多少と反比例し千人の責任感は千分の一、百人の責任感は百分の一といふ心理的現象を呈するものなり故に徹底の點よりいへば

少人數を最もよしとす

七、上述の理に基き加ふるに土地の狀況に最も適切ならしむる點より一縣よりは一郡一郡よりは一町村、一町村よりは一部落を可なりと認む従つて實行的勸奨を徹底せしめむには部落單位を以て最もよしとす

八、聽衆を類別すれば更に徹底的效果を奏するに便なり老若男女加ふるに職業の千差萬別なれば徹底し難し故を以て職業別年齢別性別地位別等類別するを以て最も可なりとす

九、縣主催に對しては郡は冷淡なり郡主催に對しては町村は冷淡なり之れ實例の示す所なり宜しく町村自身をして自發的に主催せしむべきなり實際に於て町村主催の講演會は常に盛會なるを認む

十、講演會の効果を徹底的ならしむる爲には事後に研究會を開き實行



決議をなし團體的制裁のもとに實行を督勵するをよしとす從來の講演會は此の點に考へず爲に「聞き上手の行ひ下手」となりて効果を奏せざりき

## 長 崎 縣

### 一、會場の設備

從來都市を除く各町村に於ける會場は主として寺院又は學校舎を選ぶをと普通す而して寺院は會集者に宗派感情惹起等憂なしとせず可成ば學校を選ぶを可とす然るに其の設備上換氣、通風及黑板の使用等殆んど理想的に行はるゝも聽講者座席は生徒兒童の腰掛を用ふるを以て平常農業、漁業に従事し之に慣れざるものによりては長時間に亘る講演には頗る苦痛を感ずる爲に出席を厭ふもの多き

は事實なり依て腰掛の代りに吳産等を敷くを可とす最も會場の最後部には腰掛を備へ平素之に慣れたるものに用ひしめなば一面演題に對する高底を附するの便もあり尙及ぶべくば老幼男女の座席を限定するを可とす

### 二、開催時期等

都市農村等に依り夫れ々職業の繁閑並其の演話に緣故ある動機を察し時期を擇ぶを可とす殊に時間は會合者の種別に依り職業及家事上の關係を考慮すべきこと

### 三、聽衆出席方に就き

豫定の聽衆者を集るには從來は普通其區内に於ける總代、常設員等をして傳へしめ猶要時々々に廣告貼付等の手段を取りつゝあり之れ元より可なるも今少しく進んで用紙は小紙片にても書き物を以



て戸別に配付するを可とす然らざれば理解悪き老人、小兒等に傳ふる場合は不在勝なる戸主等には常に行届かざることあり且つ書類として配付する時は其の講演要旨、日時、会場等を確實に知ることを得せしむるのみならず出席責任觀念をも喚起せるむるの利あり元より爲に多少の経費を要すべき當然のことなるも開催計畫費全體より見れば其の最大目的者たる會集を得るに考へなば誠に小額と云はざるを得ず

#### 四、開會時限

時間觀念を矯正すべきは目下民力涵養上重要な事項たり然るに従來多く集合者の多少により遅れて開會をなし又閉會時刻に就ても往々各講師間相當時刻を定めあるに拘らず其の時限を守らず其他豫定以外の事項を序を以て演話する等にて定刻を延ばすことあり

り爾後各種會合をして正確に開閉會せしむる方針に出づるを可とす

#### 五、講師間の打合

一、會場に數名の講演者ある場合は豫め相互間に於ける講材の打合せをなし置き努めて重複を避くること

六、各市、町村其他團體に講演要旨記載の帳簿を備へしむること  
通常開催所には講演筆記なるものあるも少時間にて其演旨を見分くること困難なり故に最も簡單に個條的に要旨を記載せしめ置くの要あり

## 新潟縣

一、講演會の開催に際しては徒に聽講者の多からむことを欲し會の性



質に添はざる雑多の聴衆迄參列せしむるよりも成るべく目的の種類に適應する聴講員を集め以て講演の効果を收むるに努むること

二、從來各地の講演會を見るに聴講者の教育程度を顧慮するの研究足らざるが如き憾あり之が爲折角の講演も實際上不徹底に終りし場合尠ならず故に向後は此點に一層の注意を拂ひ常に講演の程度を適切ならしむるに努むること

三、從來の講演は所謂話し放しの弊に陥る場合尠ならず故に出來得べくむば豫め講演の題目及要項を聴講者に配布し尙講演後は時間の許す限り質問を許し且講演に基く實行事項等の打合をなし以て其の効果を持續するに努むること

四、口のみ講演會は往々徹底を缺く場合尠ならず故に成るべく地圖繪畫、幻燈、實物、標本等を利用し講演と相俟つて主旨の徹底に努むる

こと

五、民衆に娛樂を興へつゝ眼と耳との兩方面より收得を確實ならしめんには活動寫眞に及ぶものなかるべし然るに從來活動寫眞は概ね娛樂用のみ利用され教育上適當なる「フィルム」を抄かりしは甚だ遺憾とするところなりき故に適當なる「フィルム」を選択し且創作して講演に利用すること

六、講演時間數の少きにも關らず講師を多く選べる結果各講演の主旨不徹底に陥る場合尠ならず是等も豫め注意して避くべきこと

## 埼玉縣

一、從來の講演會は概して主催者本位講演者本位男子本位の憾あり故に之れが改善には



聽講者本位となすこと、之れが爲めには

イ、開會の時間、日時等は繁忙の時期を避け集合に易き日時を選ぶべし

ロ、場所、集合し易き所、之れが爲めには必ずしも一箇所に集むるを要せず適當の方法に依り地方巡回講演をなすこと

ハ、設備待遇、從來主催者講演者に厚くして聽衆に薄かりしを改め聽衆は心地よく安樂裡に聽講し得る如くなすを要す

ニ、講演者氏名演題は聽講者に豫報すること  
ホ、圖畫幻燈等の利用

ト、印刷物の配付講演の要點數字參考となるべき點等簡單に印刷して配布すること

チ、婦女子を主とせる講演會を一層増加すること

社會改善上婦女子の知識啓發を圖り常識涵養に努むるは最も急務なりと信ず

リ、地方適切の話題に就き懇談的に實行方法を示すこと

### 群馬縣

講演會の開催に付改善を要すべき事項の大要左の如し

一、今後は成るべく市町村又は町村内の部落を區域として開催し民資の増殖を中心として通俗平易に講演し一般をして克く了得せしむることを期するの要あり

二、前號に依るの外教育會青年會其他團體員會合等の場合には其の機會を逸せず當該團體に最も密接なる事項を講演すること

三、第一號の如き講演會には實行上の知識經驗を有する實際家を講師



とすること

## 千葉縣

二〇

一、従來の講演は動もすれば一般的抽象的理論に流れ聴衆の理解困難にして其感激を惹くこと少きの憾あり依て深遠なる理想を説くに方りても力めて地方の情勢に立脚し平易通俗にして情的實行的の資材を覓むること

二、従て講師は講演地の地理歴史人情風俗産業等に関し理解あり然も之に墮せざる高邁なる識見を有し加ふるに經驗上の造詣豊富なる人士たるべきこと

三、従來の聴講者は多くは町村内に於て中流以上の知識階級にして眞に聴講の要ある中流以下の士は却て聴講せざるの狀態に在り之等

をして聴講せしめむが爲には従來の大區域講演會を改め時々部落的講演會を開き全部落民をして悉く出席せしめ活動寫眞幻燈等を利用して興味ある平易なる講演を行ふこと

四、一町村又は數町村を區域とする講演會に於ては徒に多數の講師を短時間講演せしむるより少數の講師に長時間講演せしめ其の趣旨の徹底に努めしむるの優れるに如かず又一方講演の要領は之を印刷して豫め聴衆に配付すること

五、講演會に於て聴衆の得たる感動及知識は可及的保續せしめ之を體現せしむるを要務とす依て其の講演終了後聴衆をして互に感想を交換せしめ協同的に奮起實踐せしむるの途を講ずること

六、講演會開催に際しても時間の厲行を圖ること



茨城縣

- 一、開閉時間を厲行すること
- 二、講師の選定に留意し現時の社會事情に理解ありと認むる者にあらざれば努めて講師とせざること
- 三、一講演會に於ける講師は一人とすること
- 四、講演會主催者は豫め講師に對し講演の内容に付希望を述べ置くこと
- 五、講師は講演前豫め土地の事情を了知し置くこと
- 六、可成聽講者の種類を一定すること
- 七、講師は統計數字統計圖表等を利用し講演の基礎を實際に置くこと

栃木縣

- 一、開催區域を可成小區域とし開會度数を多からしめんとするを以て講師は長期間滞在せしめられたき事
- 二、講演事項は土地の實情を考慮し可成土地に適合せる講演をなすこと
- 三、講演會開催の際は可成娛樂機關を利用し聽講者誘引策を以て低級者の出席を多からしむるは適當なる事なりと信ず
- 四、開催時刻を正確ならしむる爲め會場は可成土地の中央を選択すること
- 五、一開催期中講師は可成變更せざる事



奈良縣

講演は民衆の教化を目的とするものなれば其の知識程度に適應せざるべからず本縣下一般を通じては其の程度稍々低級に屬し講演と云へば只だ一概に六ヶ敷演説なりと速断し趣味を持ち研究的態度を以て集まるもの尠なく參集者の多寡は司會者の獎勵の涼熱巧拙に據るを常とす去れば極めて通俗なる方法所謂民衆化したる方法に據るにあらざれば相當の効果を收むること難き實情なるを以て本縣にては本年七月以降活動寫眞を應用し且其の間隙を利用して教化宣傳をなしつゝあり目下の處是れ以上に改善の餘地を見出し得ず

知識階級者に對する教化宣傳の爲には素より學者の講演に俟たざるべからず而れども偶々大學其他より招聘せらるゝ講師の内には徒らに高遠なる理想に馳せ理論に偏し全く學者態度に出て甚しく現實に迂く殆んど地方の實情に副はざるものあるは迷惑至極なり此の點に於て講師の選擇に注意し少くも講演の要目が何れも肯綮に中り實情に適應する如く啓發指導あらんことを切望す近來講演に次ぐに講演を以てし宣傳又宣傳を繰返へすに依り動もすれば一般に倦厭の情なきにあらざるも知名の講師なるに於ては餘り多くの勸誘獎勵を用ゐずとも其の聲咳に接せんとして集まるもの多きを常とす畢竟講師其の人の人格と聲望に基くの外なしと思料す

三重縣

講演會に關しては今後一般的と特殊のとに分ちて之を開催するを要す從來の如く訓令の趣旨を諒知せしむるに急なる場合は一般的概



括的抽象的理論的の講演を要したりしも今や益々進んで細目の實施に入り適切なる指導を爲すべきの秋なり宜しく一般的の講演と共に特殊の講演をも開催せざるべからず随て講師其の人の選擇に關しても講演の主目的に對し經驗と學識とを有する人格者たるを要す例へば民資増殖に關する講演を主とする場合には内外の經濟事情に精通し且其の地方の主なる生業に關し適切なる指導を爲し得べき講師を選定するが如し又講演會は成るべく經費を節約して度數と會場とを多くして徒に多人數を集めて其の盛況を誇るよりは其目的に必要な種類の人物を集むるを要す尙時代の要求に鑑み婦人の爲に適切な講演會を開くの急務なるを認む

## 愛知縣

一、開會時間の履行と開會時間の選定

一、講演會開催の豫告を爲し聽衆に來會の用意あらしむること必要なり特に農村に於て然り

一、講演の遣り放しは不可、必ず講演に因みて實行事項を協議すると共に其の趣旨を宣傳する方法を講ずること

一、通俗講演の必要、例へば童話、講談、演劇の類

一、講演者の不足と旅費の不足

## 靜岡縣

一、宣傳計畫を定め統一せる方針に依り開催し其の趣旨普及に關する平易通俗なる印刷物を配付するを得ば効果少なからざるべし

二、活動寫真會展覽會の開催と相俟つて行ふこと



- 三、講師の撰擇は講演會の目的達成上最大要件なると一講演會に多數の講師あるは却て不徹底に終る嫌あるを以て留意すること
- 四、町村當局者實行委員各種團體長等の指導者を會同し研究協議會に併せて講演會を開催するは趣旨の徹底と實現を期する爲最も緊切にして効果少なからざるべし
- 五、婦人の爲にする講演會は最も緊要なりと認む

## 山梨縣

本件に關し改善を要すべき事項は大略左の如し

- 一、招聘講師の種類二、講演場の選擇三、聽衆の種類別四、開催日の選定五、講師の待遇等なるが此等は寧ろ講演開催者に取つての必要事項なるを以て茲には單に項目を掲げて説明を省く

## 滋賀縣

一、講師に就て

- イ、從來は講師の地位或は世評又は學位等に依頼して其の講師の所有する特種的意義を省みざる傾向あり之を矯正する爲には豫め講師の専門的知識或は信仰、技術等につき充分の調査を要す
- ロ、講師を招聘するには先づ會の性質、聽衆の文化の程度、地方の風習等講師講話の材料或は參考資料を呈出して主催者の指導方針に合致し又聽衆の生活に直接交渉せしむる様準備をなすべきこと
- ハ、從來講演は御祭り式に多人数を集めて凡てが不徹底に終り或は講師間の處説に矛盾等を見出すことあり之を整全する爲講演の際は講師は成るべく一人をして充分に意見を述べしむる時間を



與ふること

二、聴衆に就て

イ、聴衆は會の目的に従ひ成るべく之を整全して同一なる程度のものをして凡ての方面に求め集合せしむること、從來賑かしの爲に學校の兒童等を集めて人數を増すが如きは頗る不眞面目なる沙汰と云はざるべからず

ロ、聴衆召集に就て豫め會の目的及び講師の内容等を聴衆に知らしむることは講演を聽く準備として最も必要なることに屬す然るに従來此の點に於て頗る不徹底不用意なるものあり

三、會場に就て

イ、會場缺乏の爲に小學校等を利用することあり小兒用のベンチに大人を坐せしむる等其の他生理上心理上の不調和は聴衆の注意

集中を害し會場の沈著性を無くする場合多し、故に成るべく聴衆の習慣に鑑み會場を設備選擇して聴衆の注意集中に便ならしむる様指導すること

ロ、會場内に於ては特別的座席を成るべく設けず其の席に出席したるものは監督者等は別として總じて講師に敬意を拂ひ凡て聴衆たるの態度を持し特に謹聽々衆の範となるべきは講演を徹底する上に講師及聴衆の好意的統一の上に最も必要なることとす

四、會に就て

イ、會は度數を多くし日程を豫め規定して常時的に開會するを要す  
ロ、御祭り騒ぎや專制的會合を排して成るべく聴衆の了解を深くし彼等の創造的意志に訴ふる爲講演後自由質問の機會を與ふること



ハ、會は其の目的より區分して成るべく特種的意義あらしむる様に分類する必要あり

ニ、會の目的を達する爲講演終了後協議會を開きて事後の整理に留意すること

## 岐 阜 縣

一、從來行ひ來りたる講演講話は最早一般民衆に於て歓迎せざるのみならず反て會合の煩を厭ひ寧ろ食傷の感なきにあらず單に口のみ  
の宣傳に依る抽象的の理想談は效果甚だ薄きを以て將來は人格の高き實際家の熱烈なる實歴談に依り講師と共に或は事實の筋肉に訴へ或は即時より實行を盟約せしむる等民衆をして歸依せしむる程の講師の選擇に留意するの要あり

二、從來の講演は漫然雜多の聽衆を集合して一般的の講演を試むるに過ぎざりしが今後適切なる講演を行はむとせば聽衆の多からむよりも地主階級小作階級戸主主婦軍人青年處女等社會の階級聽衆の種類を區別して集合せしめ講師も夫々に適當なる人士を選擇することを要す

三、從來講演は概ね一場の講演に過ぎざりしが斯くては其の受くる感化極めて薄弱なるを以て今後は單期講習會を開きて地方改良民力涵養上努力す可き有志家の養成町村中堅青年の養成に力むること  
四、講演は從來單に黑板を利用する位に止まり殆ど耳のみに訴へたるが一般の聽衆をして印象を深からしむには繪畫活動寫眞等を利用するも亦一方策と存ず昔時佛教殊に眞宗日蓮宗等の宣傳には開祖の一代記の繪解或は押繪或は機械人形を以てし法話に興味を深



からしむる等民衆道化の工夫には意を用ひたるものにして又最近國勢調査の宣傳に付各地に行ひたる活動寫真に依る宣傳の如き儘に效果の大なりしを信ず依て政府保護の下に民間會社をして民力涵養自治思想の發達、生活改善、公衆衛生、産業の改良等適切なるフィルムを調製せしめ例へば優良村に於ける住民の受くる福利之に對し不良村に於ける住民の受くる不利又は生活改善を爲したる町村の實況之に對し爲さざる町村の惡弊等を劇に仕組みたる映畫の如きを地方に回付して講演講話に交へ映寫に説明を加へて一般民衆の觀覽に供せば比較的容易に而も效果甚だ多きことと思料す唯現在に於てはフィルム購入機械運搬發光器の設備等に幾多の經濟上の困難あるが爲地方に於て實行に困難を感じ居る狀況なり

## 長野縣

講演會をして十分の効果を收めしめん爲には次の事項に對し特に留意するの必要なるを認む

### 第一講演の内容に關する事項

講演には特種の研究のためにするもの及或事項の

宣傳普及のためにするもの

とあり前者は講演者が中心たるものにして聽講者は客たり後者にありては之に反す故に後者にありては講演事項に十分の研鑽を積むと共に聽講者に對する研究を遂げざるべからず

聽講者の知識修養の程度

聽講者の環境及其實生活



### 聽講者の思想感情信念の傾向

等に関する十分の調査を遂げ宣傳事項を特種化して以て之を聽講者の生活環境に迄導くと共に聽講者に對する滿腔の同情を以て之に臨まざるべからず  
從來講演者の用意稍もすれば此點に缺くるあり爲に折角の苦心をして水泡に歸せしむること少からず時に所謂講演者の技巧聽者を魅せしむることあるも苟も此點に對する注意を缺くあらば聽講者を實行に導くことは期し難かるべし

### 第二講演會の準備

準備不十分のため講演會の効果を減殺せらるゝこと少からざるものあり此の點に關し改善留意を要すべき事項を擧ぐれば左の如し  
イ、講演會目的を明かにし設備裝飾等に至るまで其目的に向つて

### 一致せしむること

- ロ、會場及裝飾は會員の感情を平靜ならしむる様留意すること
- ハ、講演者の人物及講演の要綱は豫じめ周知せしめ置くこと
- ニ、來會者の多衆を期するためには餘興參會賞其他適當の方法を講ずること

### 第三講演及講演會

會及講演に關しては左記事項に注意改善する必要なるを認む  
イ、期日及開閉の時間は土地の情況に依り聽講者の便を考ふべきこと

ロ、開閉の時期を確守すべきこと

ハ、講演は講師の獨演となさず時々聽講者の質問を受け意見を徴する様にすること



ニ、プログラムに注意し可成聴者の感情を融和平靜ならしむべき  
音楽を挿入すること

猶女子、青年、戸主、主婦、労働者、資本家、又は農業者、商業者、工業家時に或は選舉民等聴講者を單一ならしむるは講演を有意義ならしむるに於て最留意すべきことたり。現代の國民「人類一般等を對象として講演するが如き固より必要なる事項なるに相違なきも單に此平等觀一般觀の上のみに立たず差別的特殊的の見地より講演を試むるは現今必要なることなりと信ず

#### 第四結果の處理

講演の効果を擧げんとせば講演會の閉會を以て事了れりとなすべからず特に左記に留意するを要す

イ、講演事項を進んで研究實行せんとする者の爲に書籍雜誌研究

者の紹介をなすこと

ロ、講演事項の徹底を圖り且之を精練し具體化するため講演を主題とせる研究會を開くこと

之を要するに宣傳を目的とする講演會に在りては講演其のもの會其のもの(多衆者取扱)聴衆其のもの(の三方面より研究の歩を進むるの必要なるを認む

## 宮 城 縣

一、從來知名の士の講演會は殆んど一定の都會地に於て開催せられ聴衆も亦開催地附近の者に自然多く殊に民力涵養に關する講演の如きは直接民衆に具體的講話をなすを最も必要とするに名士の講演は往々一部智識階級に限局され實際に一般民に講話するは郡町村



の官吏や員なるを以て動もすれば一般民は會を輕視す傾向あり自然缺席勝となり時間の不属行となる結果を來し切角の講演會も其趣旨の徹底を期する能はざるに至る嫌あるを遺憾とす故に將來は會場は偏することなく郡部町村に迄名士の講演會を開催したらんには趣旨徹底上其利益尠からざるべしと信ず

二、講演會は官廳の都合にのみよらず民衆の都合を察知して開催すること

三、地方改良の講演を膺るべき人は能く地方民の實際生活に通曉せらるべきこと

四、講演時間は聽講者の種別を考料して從業に妨なき時間を定め時間厲行とし地方中堅者、青年團員、處女會員、地方婦人、軍人、勞會等又は職業種別に會合せしめ聽講せしむること

五、講演は部落講演を主とし一地方一個所に行はるゝ講演を從とすること

六、聽講者の種別により思想家、實業家、有徳婦人等を講師とすること

七、地方の民情を查察し通俗講演、講談、幻燈會等を行ひ又は活動寫真に依り講演をなすこと

福 島 縣

一、會期に就て

講演に於ける會期の選擇といふことは頗る重要な一條項にして會期は須く聽講者に取つて便宜多きときを本體とし且つ一般民衆の心理情態に就て機期を制するといふ點に最も留意すべく之を顧ざるときは同一の經費及び勞力を費して案外效果の薄きを免れず



一、一般聴講者の閑散の時季を利用すべく農家に取つて農桑繁忙の際の如きは聴講者の少きのみならず生産能率を減ずるの惧あり

一、民衆の心理に共鳴合致すべき機會を利用すべく假令せば各種の紀念日に於て其の由來事項事績等より民風作振の講演をなし

祝祭日等に於て當日の由來心得より國體に關すること敬神崇祖に關する講演をなし

運動會、競技會の當日及其の前後に於て體育上並に衛生上の講演をなし

風害火災等の場合植林治水防火等に關する平素の準備及將來の計劃等に關し研究講演會を開催するが如きは其一端とす

二、會場に就て

會場の適否準備の程度に依り講演の成績に又大なる影響あるものなれば主催者の意を用ゆべき項目とす

一、會場は可成集合區域の中心交通上に便宜の處を選ぶべきこと

一、會場に於ける環境の如何は聴衆をして緊張し程度を左右すること大なれば學校の講堂の如きものを以て充つるを最良とす尙ほ場内に於ける諸物は整然たるを要す

一、會場に於ける行動は一切主催者に一任し其の指揮に従ふ様聴衆を訓練するの必要あり

一、時間の厲行は主催者に於て特に留意すべき一大條件にして講演の改善上最も見逃すべからざることとす

三、講師に就て

講演に於ける生命とも稱すべきは講師其の人の人格及び講演の内



容に存することにて講師の選擇に留意すべく一度之を誤れば其の當時のみならず將來に於ける講演に非常の影響を與ふるものとす

#### 四、聽講者に就て

聽講者の多數なるを以て強ち誇りとすべきものにあらず要は講演の趣旨の徹底は講演後の成績に見るべきものにて精神的少數者の集會に於て却て偉大の効果を擧ぐることに尠しとせずされば一般民衆に對する講演は之を性別、年齢、境遇等に依て類別すること徹底力に至大の關係あれば大體に於て戸主主婦、青年、處女及び特種の團體員を基礎として夫々適切なる内容を與ふるの有効なるを認む

#### 五、講演の補助機關に就て

知識階級の者に對しては格別なれども夫れ以下の一般民衆に對しては補助機關として幻燈活動寫真等を利用することの有効なるを

認むされど之を利用するに就ては材料の選擇影畫の調製等多額の費用を要するが故に之が普及に就ては主務省に於て之が選擇調製に當り之を各府縣に送達するか或は相當の補助せらるゝことを望む

### 岩 手 縣

#### 一、聽衆招集の方法に於て

從來採り來れる區長又は組長口達方法の外市町村長の署名ある招集狀を毎戸に配布し伍長をして誘引出席せしむること  
時期は可成農繁期を避くること

#### 二、聽衆の種類に就て

戸主招集の場合に於て青年及高等科生徒をして傍聽せしむるは妨げざるも尋常科兒童は絶対に混入せざること



三、講演事項に就て

訓令の趣旨を徹底せしめ國民精神の涵養に努むるは勿論要目中重なる事項にして實行困難と認むるものに就き獎勵の趣旨を諒得せしめ自覺ある協力を促すに努むること

四、時間に就て

可成午後五時には閉會するやう計畫せしむること殊に婦人集會に付注意を要す

五、中央講師招聘に就て

鐵道を離るゝ郡部へも出張を請ふこと

六、郡部より講師派遣の請求に對し旅費の關係上應じ難き遺憾萬々有之此の遺憾を除くべく縣費を更に増加補充するの困難なる事情あるを以て國庫旅費増加配當を求むるの必要あり

青 森 縣

一、講演會は開催市町村の責任を重んぜしむる爲可成市町村主催の形式を採ること

二、開催地の希望ありたる場合の外一般講演會の開催は聴講者日常の業務に差支なき季節時機、時間等を選択すること

三、講演會開催には時間を厲行するは勿論なるも主催者に於て厲行し得る時間を選定すること

一定の時間に必ず集合せしめんが爲時間の懸引を爲す等は嚴禁のこと

其 他

イ、講演會を意義あらしむる爲講演終了後主催者は講演の要點等實



行すべき方法を聴衆に諮り若くは決議等をなすこと

ロ、講演會終了後主催市町村より聴衆集合方法及結果(狀況を含む)報告をなさしむること

ハ、講演二時間以上に涉る場合は一時間毎に休息すること

### 山形縣

講演會の開催に際しては聞き流しに終らざる様可成講演終了後有力者の居残りを望み講演の内容に付尙討議を重ね是れが實行計劃を講ずること

### 秋田縣

一、時間履行に遺漏なきを期すること

二、開催の期日及時間は聴衆の都合を考量して定むること

三、開會の趣旨講師及演題等は豫め聴衆に周知せしむること

四、主催者をして講師の選定に留意せしむると同時に講師をして地方の情況に注意せしむること

五、活動寫眞及幻燈或は琵琶歌、浪花節、講談、蓄音器等を利用し聴衆をして厭意なからしむること

六、婦人に對する講演會をも盛んならしむること

七、政府に宣傳機關を置き直接宣傳を爲すの外間接宣傳の一方法として地方に於ける講演の新資料の供給を潤澤ならしむること

### 福井縣

從來の講演會は場所が一方に偏したる上に更に聴衆が亦一方に偏



し一般に周知せざるの恨みあり又講師の演説も一般的に失し主眼點なきもの往々あり努めて地方の事情に適すべく具體的材料を選ぶことに努め左記事項に注意するを要す

一、男子に偏せず女子にも知らしむること即ち主婦、處女等に徹底せしむること

二、都會地に生活せる地方人士が避暑其他の爲に歸省したる場合は地方開發の爲に講演を必ず依頼すること

三、講演は可成戸主、主婦、處女、青年等部類分に聽衆を集むること

四、町村各大字の集會を利用して座談的問答的相談的に講話をなし民衆の要求に應じて指導すること

五、職工店員等の公休日を利用して之等に民力涵養の趣旨を宣傳し又農村に於ては五節旬半日休業御講日等の休業を利用して主婦、處女

會に周知せしむること

六、勞働者階級漁業民部落等に對しては別種の方法に依ること

七、講演會は單に耳より入らしむるのみならず目より入らしむる方法を探り即圖表活動寫真劇等を利用すること

八、地方出身先輩の講話は特に地方民に對し好印象を與ふること論なし主務省に於ては平素此等地方出身の先輩にして郷黨崇敬の的となれる人士を調査し置き暑中休暇展墓等適當の機會に於て交渉し講師として地方に出張方を取計はれ度し

## 石川縣

各種講演會の改善は現今社會教化事業の要求と共に切に其の必要を感じつゝある所なれども又其の方法に至りては容易ならざるもの



にして其の良策なきに苦しみつゝあり唯大體に於て其の改善上留意すべき事項を擧ぐれば左の如し

一、成るべく講演を通俗的實際的ならしむること

二、活動寫真幻燈等を應用して聽衆の會同に便し且講演に對し興味を添ふるの方法を講ずること

三、講演の性質に依りては可成知識及趣味の程度を計り或は類似の職業に従事する者を集め或は年齢の懸隔なき者を集め或は部落集會等局限せる聽講者の小集會に依り特殊的又は懇談的實際的なる講演を爲すに容易ならしむる等の點に留意すること

四、講演に付ては抽象的に走らざるに努め成績良好なるものの範例的事實を説示し以て其の實行點を示すことに留意すること

五、講演會の時刻は土地の狀況に鑑み聽講者の最も集合に都合好き時期及時刻を選定することに留意すること

## 富山縣

近來講演會は隨時各所に開催せられ新知識の收得に努むるは誠に喜ぶべき現象なりと雖ども翻て考ふるに會合の種類も多様に涉り講演の度數亦頻繁なるが故に士民は殆ど食傷の觀あり自然參會者の減少を來す結果司會者は可成多數を得んが爲め漫りに聽衆を驅り集め體裁を装はんとする者あるに至り折角の講演者も壇上に立ち失望を餘儀なくさるゝ場合も少からず此の如きは趣旨の徹底を缺き其の効果を薄からしむるものなり

各種の會合は夫々目的を有する者なるが故に當事者は漫然講師を聘することを避け豫め題目を定め之に適當せる講師を需むるか又豫



め講師の決定せる場合には其講師の主張を聴くに足るべき者のみをして聴講せしむるこそ最も有效なるべし若し夫種類の如何を問はず多數の聴講者を集め通俗的に了解せしめんには活動寫真其の他の餘興となるべき者を添へて開催するときは講演の趣旨を了解せしむる一助となるのみならず多數を集むる上に於て効果あるを疑はず

### 鳥 取 縣

一般抽象的の演題を避け努めて地方に適切なる事實を根據として講演するは最も有效なるを認む尙講演後懇談會を開き講演事項に關聯し其の地方に實行せる情況等を披瀝せしめ之が善導實踐の指導をなし或は共同實行の促進を計ること

### 島 根 縣

- 一、時間履行の嚴守を爲すべきこと
- 二、特に婦女子に對する講演會を開くべきこと
- 三、聴衆の如何により講師の選擇を愆らざること
- 四、一般民衆の教化を目的とする場合には可成興味を伴ふの施設を爲し理解を平易に且具體的ならしむると共に感銘を深からしむるに努むべきこと

又小部落に於て徹底的に之を行ふべきこと

- 五、各方面各種の講演を行ふに當りては不統一にして重複無用の勞を重ぬるが如きを避くるに努め前後可成聯絡を保ち思想の混亂を招くが如きことなき様注意すべきこと



五六  
六、單に講演を講演のみに止めず講演後懇談會を開き各自の意見を交し又は實行方法を協定するの機會とすべきこと

岡山縣

- 一、五人組或は什長制度、學校生徒の利用等の方法によりて講演會の通知を遍からしめ以て出席を勧誘すること
- 二、難駁なる講師による講演會例へば青年雄辯大會の如きは村落青年に輕薄なる思想を涵養せしむる結果となり引いては彼等が知徳の修養を目的とせずして單に話術の修得又は一時の單なる面白さのみの爲に講演會に出席するの氣風を養成する結果となるを以て主催者側は常に此の邊に留意し村民の知識慾修養熱を旺ならしむる事に平素注意し青年雄辯大會等には必らず相當の批判者を置くこと

と

- 三、主催者は講演會の目的に従ひ聴衆の種類を制限し其の他の者に對しては特別の傍聽席を設けること講師は主催者側の意を體し主力を注ぐべき主體を定めて其の他の傍聽者に顧慮せざること(例へば青年團講演會に徒に聴衆の數の多さを欲して或は老年者を加へ或は小學校兒童を混入するが如きは講演の効果を大ならしむるものにあらず)

- 四、講演會開催前主催者は講師となるべく詳しく打合せすること(聴衆の知識、趣味、要求を講師に告げ主催者側の希望をも告げること)
- 五、講演の要旨は豫め印刷して配付し或は大書して揭示し或は聴衆に筆記せしむる等の方法を取り講演を單に聞流しに終らしめず善く其の趣旨を捕捉せしむる様努むること



六、講演を單に所謂道德的修養談にのみ偏せしめず多方面に亘りて専門的知識の獲得常識養成趣味性の向上に努めしめ以て品位の向上と實際生活の改善とに意を用ひしむる事

七、講師は聴衆の歡心に迎合する事をのみ努めずして言はんと欲する所を言ふと共に聴衆に智徳の修養に對する欲求を旺ならしむる事に留意する事(換言すれば講師が單に一片の話術の遊戯をのみ弄せざる事)

廣 島 縣

訓令の趣旨を普及して各人の自覺を促さんとするには講演會を開催して盛に宣傳を行ふことの緊要なるは絮説を須たざる所にして講演會の開催に付改善を要すべき事項の主なるもの左記の如し

- 一、邊僻の地に至るまで可成多くの者に聴講の便を與ふるが爲め講演會の開催地は郡市町村中樞の地のみならず片寄らず可成之を全體に普遍ならしむること
- 一、講師の選擇に注意し穩健着實の人士に託すること
- 一、講演は可成具體的實際的なることに努め徒らに演說的抽象的に流るゝが如きことなきを期すること
- 一、時々特に婦人中心の講演會を開催すること

山 口 縣

- 一、時間に就て
- 開閉の時刻は聴衆の便宜を考察して之を定め開會時刻と共に閉會時刻を豫告すること



出席者の多少に拘らず開會時刻を確守すること

二、會場に就て

學校、神社、寺院、産業組合事務所等聽衆の自然緊張すべき場所を選び成るべく劇場の類を使用せざることを

大町村に在りては毎回中央部にのみ偏せざることを

三、主催者に就て

少なくとも開會時刻十五分前に會場に出席すること

同時に多數の講師を聘せば開催度數を多くすること

講師に對しては精神的優遇を主とし正當報酬の外物質的謝禮を爲さざること

四、講師に就て

主催者同様少なくとも開會時刻十五分前に臨席のこと

講演時間を豫定より延長せしめざることを

聽衆の種類に依り講話の内容及話方を斟酌し聽者との接觸を期待すること

五、參聽者に就て

左右別等に分ち男女席を混ぜざること

年少兒童には便宜別に兒童會を催し一般的講演會に出席せしめざることを

## 和歌山縣

一、協議を要すべき會合には記名小票を利用して出席を督勵し責任者全部の集合を期すべし

二、一般に對する宣傳には活動寫真を利用すること但し其の場合主要



フィルムは講演の主眼點を寫し込みたるものたるを要し口演は可成簡約平易たるべし

- 三、講演の日時場所の決定に際しては聴講者の便宜を重すべし
- 四、講演會の終始は必ず時間厲行するを要す
- 五、講演者は可成地方的活材料を攝取し克く講話を聴衆の種類程度に適應せしむることを要す而して眞の雄辯は究竟熱誠なる示範に在ることを知らざる可からず

## 徳島縣

講演會を開催すると聴衆の多數なるとは固より望む處なれども徒に其の度數と聴衆とに依りて其成績を品隲すべきものにあらず要は其の聴衆に理解感動を與へしや否後來の成績に待たざるべからざる

ものなれば左の事項に注意改善を加ふるの要ある可し

### 一、講師の選定

イ、聴衆の種類、知識程度に従ひ適當なる人を招聘すること

ロ、一般に其場限主義、人氣取主義の講師を避けること

### 二、聴衆の區分

從來の例に徴すれば或特殊の講演を除くの外聴衆の職業知識の程度等を考慮せず各種雜駁なる聴衆を一堂に集めるもの多し従つて其効果に影響せること尠からず故に今後は聴衆を職業別、知識別、或は男女別其の他目的に従ひて分類し可成聴衆の種類を一樣にし之に適する講師と演題とを選択するを宜しとす

### 三、題目の選擇

從來は多く精神的方面にのみ偏したる傾なしとせず將來は之に加



ふるに實際生活に必要な題目を選び一場の講演も直に採りて實際生活に應用し其効果を現實せしむる様留意すること

#### 四、期日の選定

イ、從來多くは開催者の便を主として決定せるも今後は事情の許す限り聴衆の便を本位として決定すること

ロ、講演の内容と季節とに留意すること

#### 五、時間の厲行

開會、閉會の時間を厲行すること

#### 六、會場の選定

イ、講演の種類、内容に従ひ會場の選定に留意すること

ロ、神社、寺院、學校等を可成利用すること

#### 七、餘興の選擇

一般聴衆が講演の必要を自覺し進んで聴講するの風を生ずる迄は尙餘興を加ふること必要なりと雖も餘興の選擇が誤り爲に講演の効果を以て水泡に歸せしむるの實例少しとせず故に餘興は其の選擇を慎重にし風教に害なきは勿論聴衆の階級知識程度、習慣等を參酌し可成堅實有益なるものを選ぶこと

#### 八、計畫の樹立

講演會は多くは年限科目等につき一定の方針計畫を樹立せるもの少し故に教育、衛生、勸業等各種科目に就き年限を定め一定の計畫を樹て系統的に講演會を開催すること

九、民力涵養の概念は今や一應普及したるを覺ふ後來の講演は宜しく五大要綱中の一項に付懇切丁寧に特に平易を旨とし徹底を期すること又可成講演の要旨を印刷し豫め聴衆に配布し置き當日の了解



と後日の記憶とに便する様なすこと  
十、講演會には可成参考品の展覽會等を附設するを宜しとす又講演せし事項中直ちに實行し得らるべきものあらば現場に於て具體的方法を協定する様なすこと

香 川 縣

別に意見なし

愛 媛 縣

從來の講演會の多くは所謂講演のみにして講演終了すれば直に解散するを常とし不徹底の感あれば

一、講演會には其種類により成るべく時間に多少の餘裕を選定し置き

聽講者の質疑所感談又は簡單なる有志の共鳴談或は協議會等を附帶するを宜しとす

尙聽講者中の有志者のみに付て是を實施するも亦可なりとす  
斯の如くに改善せば一層徹底するに至るべく且つ誤解なき満足と與へ講演の効果を大ならしむべし

本件に關しては講演會開會前豫め聽講者の諒解を求め置くを要す  
二、成るべく講演の要領を平易なる文章により印刷物となし開會前配布し置くこと

三、國家の大祭祝日又は紋日記念日等を講演日と定むること  
例令聽講者は少數なりとも繼續的に實行すること

四、講演の會場は官廳又は學校の所在地を中心とすること多ければ時々僻陬の地を選定して開催すること



- 五、聽講者の普く行き渉らざるは講演會開催の趣旨徹底を缺くに因ること多し本件に關し充分の注意をなすこと  
尙講演の種類によりては主婦の出席を一層勧誘すること
- 六、講演の時間は主催者に於て適當ならしめ約二時間乃至三時間以下を適度とす  
尙講演開閉の時刻をも適當且つ正確ならしむること
- 七、講師に對しては主催者より其地方の狀況を豫め談話し置き參考に供すること
- 八、講演會場には出來得る限り講演に關係ある圖書標本等を陳列し置くこと
- 九、講師には其地方に於ける産業につき特に相當の諒解を求め置くこと

## 高知縣

- 一、形式的理想講演即ち宣傳的講演は既に其の時季を過したるの感あるを以て將來は實際的講演の必要なるを信ず
- 二、思想の豊富辯舌の雄健なる者よりも思想の健全人格の崇高なる講演者を選ぶこと
- 三、講演の前後に於て聽講者を講師に近かしむると共に講師亦進んで聽講者に接觸するの必要なること
- 四、時間の厲行
- 五、時々聽講者を區別し有志者には指導の知識を與ふると共に下層者に對し直接講演の趣旨徹底を期すること
- 六、下屬者を參集せしむること困難なれば之等を參集せしむる方法と



- 六、して餘興の如き亦必要なるを信ず
- 七、婦人に對する講演を多からしむること
- 八、地方に於ける講演會の事務は成るべく地方青年團をして之を處理せしむること

福岡縣

- 一、開會の季節に注意すること
- 二、開會時刻及場所を研究すること
- 三、關係各方面との連絡に勉むること
- 四、地方の状況を前以て調査參考とすること
- 五、地方に於て同一又は類似事項に付可成重複を避くる爲特に前後の事情を取調べ置くこと

六、本會趣旨の普及徹底を圖ること(口頭書類にて宣傳)

七、講師の人選に留意すること

八、講演に當りては

イ、可成要項を記し之を頒布し豫備知識を喚起し

ロ、地方的に徹底せしめ

ハ、可成贅辯を避け(徹底を缺かざる範圍に於て)時間數を短くすること

九、會場の設備其他諸般に亘り可成聴衆に快感を催さしむることに勉むること

十、當日は多少の趣味を附設すること

十一、講演會の結果を纏むることに努力すること



## 佐賀縣

### イ、時間の履行

講演會の開催に當り豫定の時間に開會すること少し之れ聴講者の集合遅るの爲なりと雖又一面主催者に於て豫告せる時間に開會せざる爲め自然聴講者の集合遅る故に先づ主催者に於て開會時間を履行して漸次一般に時間履行の習俗を成さしむること肝要なり

### ロ、聴講區域の限定

聴講區域大なるときは會場に至るの距離遠く從て時間を費すこと多く且つ服装の如きも相當顧念するの關係上階級低き者の聴講すること少し故に可及的聴講區域を縮少するの必要あり

### ハ、聴講者の分類統一

講演の趣旨目的に依り可成聴講者は戸主、主婦、青年、處女等に分類統一して各階級に適應せる講演を爲すの必要あり

### ニ、參考資料の陳列展覽

講演に關係ある現品、繪畫、統計圖表等の資料は可成會場内又は其の附近に陳列して講演の前後に一般聴講者の觀覽に供するは最も有效なる方法とす

### ホ、講演には可成近き例を引くこと

講演中に用ふる引例は可成時代の新らしきものにして且つ近距離の地方のものを選ぶこと必要なり

## 熊本縣

イ、講演會は漸次二日乃至三日間位の講習會的に改め立憲自治思想の



鼓吹には特に努力すること、講演後の協議又は懇談會を可成有効ならしむること、實行事項の協定は其の實行の手段方法をも同時に協定して決議の效力を確實ならしむること

### 宮崎縣

從來の講演は斯業普及上一時に多數の人員を出席せしむるの傾向あり是れ事情已むなきものと認めらるゝも個々の人をして堅實なる國民の基礎を涵養せしむるには將來可成一部落又は一團體の會員及關係町村吏員學校職員篤志家等に止むること肝要なり少人數の會合に於ては單なる講演よりも座談の方却つて有效なるが如し近來地方に於ける會合は甚だ頻繁にして聽衆を集むるに困難する場合多し

れば講演は可成通俗的にして興味ある様に仕組み講演後講談其他の餘興を演ずるが如きは甚だ必要なるが如く察せらる

尙民力涵養に對しては專任の囑託を置く例なるも講演者指揮者の資格は聽衆を集むる上に於て或は指導獎勵を行ふ上に於て重大なる關係を有するを以て少くとも奏任待遇以上の資格を與ふる途を開かれむことを望む

### 鹿兒島縣

内務省より派遣さるべき講師は可成縣の要望通り派遣せられ度又講演講話のみに止まらず活動寫眞其他繪畫等に依り直覺的に之が普及徹底を計るは良法と認む



沖繩縣

講演會開催に付改善を要すべき事項左の如し

- イ、講演者の選擇に注意すること
- ロ、一回に於ける講演者の數を少なくすること
- ハ、講演者をして氣持よくせしむべく注意すること
- ニ、講演者の年齢又は知識の程度により別々に集合せしむること
- ホ、聴講者をして氣持よくせしむる様注意すること
- 一、開會及び閉會の時間を厲行すること

500  
34



終